記入上の留意事項

**教員の個人調書**

（その１）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 履　　　　　　　　　歴　　　　　　　　書 | | | | |
| フ リ ガ ナ  氏 名 | ふりがなは「ｶﾀｶﾅ」  で記入すること。 | 性別 |  | 写 真  1.縦４ｃｍ×横３ｃｍ  2.３カ月以内に撮影したもの |
| 生年月日(年齢) | 和暦 年　　　月　　　日　生　　　(満　　　歳) | | |
| 現住所 | **〒**  電話  E-mail | | |
| 学 　　　　 歴 | | | | |
| 年　　　月 | 事 項 | | | |
| 和暦 | ・出身高等学校名から入学年月・卒業（修了）年月を記入してください。  ・大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する者は、これらの学歴（学位、称号を含む）のすべてについて記入し、その他の者は、最終学歴について記入してください。  ・博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。  ・学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。  ・大学の別科、専攻科については本欄に、研究生、聴講生等は「職歴」欄に記入してください。  ・学位、称号の他、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格についても本欄に記入してください。この場合、登録(免許)番号も併記してください。  ・外国における資格については正確に記入するとともに、その資格の内容についても併記してくださ　　い。  ・外国留学については、学生としての留学の場合は本欄に、研究者としての留学の場合は「職歴」欄に記入してください。 | | | |
| 保 有 学 位 | 保有する学位をすべて記入してください。 例： ○○学士、修士（○○学）等 | | | |
| 職 歴 | | | | |
| 年　　　月 | 事 項 | | | |
| 和暦  ＜記入例＞  平成３年４月 | ・すべての職歴（自営業･主婦･無職等を含む。）について記入し、職名、地位等についても明記してください。  ・過去に大学設置・学校法人審議会（旧大学設置審議会を含む）で受けた判定がある場合は、同欄に当該教員組織審査に係る大学名、審査の年月、専任・兼担・兼任、職名及び担当授業科目名（大学院にあっては、判定結果（合・合・可）を含む。）を記入すること。ただし、学内審査は対象とならない。    前判定：○○大学大学院△△学研究科修士課程 専任 教授「科目名称」Ｍ○合  　　　　　　　　　　　　　　　　　博士課程 専任 教授「科目名称」Ｄ○合  ・各職歴について、在職期間を明確に(「○年○月迄」等)し、現職については必ず「現在に至る」と記入してください。  ・担当科目に直接関係のある職歴については、できるだけ具体的に記入してください。  （例：看護学科の教員で看護師経験がある場合は当該看護師時の勤務病棟等）  　 教職歴の短い方は、適宜、非常勤講師歴も記入してください。  　 原則として、２枚以内に収まるように記入すること | | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学会及び社会における活動等 | | | |
| 現在所属している学会 | | | 提出時に所属する学会の名称を記入してください。 |
| 年　　　月 | | 事 項 | |
| 加入年月順  年月順 | | (学会活動)  ・本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入してください。また、教育研究上の業績を有する場合は、その内容を具体的に記入してください。  ・過去及び現在の学会の所属状況を、加入した年月日順に記入し、（　　）の中には加入期間及び学会における役員等の職名を記入してください。  ・なお、学会以外の団体については、学会に準ずる程度の水準や規模のものに限り記入してください。  ○○学会会員（○○年○月まで）  ○○学会会員(現在に至る)  △△学会会員（○○年○月より○○年○月まで　評議員）  □□学会会員（○○年○月より現在まで　常務理事）  (社会における活動等)  ・公的機関の委員等、専攻、研究分野等に関連する公益法人の委員または新聞社等の行う学術的な行事の委員等で、重要なものを記入してください。  ・団体活動、社会活動、社会調査、国際交流活動を含め具体的には、国際的、全国的または都道府県等レベルにおけるものについて記入してください。  ○○学術交流委員会委員（○○年○月まで）  △△県□□審議委員（現在まで）  ○○事業団○○モデル事業指導（○○年○○月）  ○○省○○プロジェクト推進事業（現在に至る） | |
| 賞　　　　　　　　　　　 罰 | | | |
| 年　　　月 | 事　　　　　　　項 | | |
|  | 学術奨励賞、出版賞、学会賞等があれば、記入すること。通常、「賞罰共なし」と記入する例が多い。 | | |
| 上記のとおり相違ありません。  　令和　　　年　 　月　 　日  氏 名　　　　　　　　　　　　　　㊞ | | | |

（その２）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 教 育 研 究 業 績 書  令和　　　年　　　月　　　日  氏名 　　　　　　　　　 ㊞ | | |
| 研 究 分 野 | 研究内容のキーワード | |
| 科学研究費補助金の「系・分野･分科･細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを３つ以内で記入してください。 | 左記の細目表を参考に、研究内容を表すキーワードを５つ以内で記入してください。 | |
| 教育上の能力に関する事項 | | |
| 事 項 | 年　月　日 | 概　　　　　　　　要 |
| １ 教育方法の実践例  　※担当した科目名ではありません。 |  |  |
| 優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取り組み、講義内容のweb上での公開等  　(1)  (2)  (3) | 当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。 | 当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。 |
| ２ 作成した教科書，教材 |  |  |
| 作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材などの概要（後の「著書、学術論文」との重複も可。その場合「（再掲）」と表示）  (1)  (2)  (3) | 同上 | 当該事項に係る内容の概要 |
| ３ 教育上の能力に関する大学等の評価 |  |  |
| ・採用決定の際等における評価内容  ・各大学における自己点検･評価での評価結果  ・学生による授業評価、教員による相互評価等の結果  　(1)  (2) | 同上 | 当該事項に係る内容の概要のほか評価を受けた団体（大学）名を記入してください。 |
| ４ 実務の経験を有する者についての特記事項 |  |  |
| ・大学から受け入れた実習生に対する指導歴（看護･福祉実習、企業実習等）  ・企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師、シンポジウム  ・その他、所属機関や関係機関等において行った講義、講習、職員・関係者等に対する指導、海外等における留学、調査研究経験等を広く記載すること。  　(1)  (2) | 同上 | 当該事項に係る内容の概要 |
| ５ その他 |  |  |
| ・大学教育改善に関する団体等での活動での概要  ・教育実績に対する受賞歴 等  ・１～４に該当するもの以外の事項について幅広く記載  　(1)  (2) | 同上 | 同上 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 職務上の実績に関する事項 | | |
| 事 項 | 年　月　日 | 概　　　　　　　　要 |
| １ 資格，免許 |  |  |
| 取得した資格・免許について記載  （多数であれば、担当する教育の内容に関するものなどについて記載）  　(1)  (2) | 当該事項に係る取得時期、実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。 | 当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。 |
| ２ 特許等 |  |  |
| 取得した特許について記載  （多数であれば、担当する教育内容等に関連した項目について記載）  　(1)  (2) | 同上 | 当該事項に係る内容の概要 |
| ３ 実務の経験を有する者についての特記事項 |  |  |
| ・大学との共同研究  ・訴訟･審判･監査･与信･企業提携･研究開発等の担当実績  ・各種審議会･行政委員会、各種ADR等の委員  ・行政機関における調査官等  ・研究会･ワークショップ等での報告や症例発表  ・調査研究、留学、海外事情調査等  ・上記を裏付ける報告書、手引書、マニュアル、雑誌等  　(1)  (2) | 同上 | 同上 |
| ４ その他 |  |  |
| ・職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等  ・論文の引用実績等  　(1)  (2) | 同上 | 同上 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究業績等に関する事項 | | | | |
| 著書、学術論文等の名称 | 単著、  共著  の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概 要 |
| ※「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表(予定)のものは記入できません。  ※研究等に関する主要な業績を（著書）（学術論文）（その他）に適切に区分し、各業績を発表順に  通し番号を付してください。  （著書）  ・書名を記入してください。  (一冊の本を数人で執筆した場合、当該部分は単著であっても共著としてください。)  1.  2.  ※翻訳などの出版物については「その他」の欄にご記入ください。 | 単 共 の略号で記入すること。 | ・当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。 | ・発行所名を記入してください。 | ・「概要」は、業績ごとに200字程度で記入してください。  ・当該著書等が単著の場合は総ページ数を、共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページ等を記入するとともに、本人の氏名(下線を付すこと。)を含め、著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名)を該当著書等に記載された順に記入してください。また、本人の担当部分が抽出困難な場合は○○○○○のため、担当部分抽出不可能と記入してください。 |
| （学術論文）  ・学術雑誌、学会機関誌、研究報告、紀要等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。  ・学位論文については、その旨を明記してください。  1.  2. | 同上 | 同上 | ・発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。 | ・上記に準じて記入してください。 |
| （その他）  ・総説、学会抄録、依頼原稿等にあっては、当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあっては当該テーマを記入してください。  そのほか業績としてふさわしいものを記入してください。  ○学術的立場での視聴覚マスメディアヘの出演等  ○芸術分野の制作、展覧会出品、個展等  ○技術分野における設計、制作デザイン等  1.  2. | 同上 | 同上 | ・報告発表等は、学会大会名、開催場所等を明記してください。  ・「視聴覚マスメディア」「芸術分野」等については、番組、展覧会の名称及び主催団体を記入してください。 | ・上記に準じて記入してください。 |